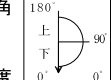










# 岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道 東城西城線 測量設計地質調査業務委託（道路改良・単独）

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング名	B-2	調査位置	広島県庄原市東城町保田		北緯	34° 55' 48.8576"	
発注機関	広島県北部建設事務所 庄原支所	調査期間	令和5年 8月 4日～ 令和5年 8月 5日		東経	133° 10' 43.5598"	
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	TP 555.48m	角		方		地盤勾配	
総削孔長	6.00m	度	0°	向	北 0° 西 270° 南 180° 東 90°	使用機種	東邦D0
		度	0°			エンジン	ヤンマー-NFD10
						ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名 (模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の形状	岩級区分	コア採取率 最大コア長 R Q D [%]	記 事	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原位置試験	室内試験	削孔状況	状況									
														深度 - N 値 図	N 値	深さ	50回の貫入量					自沈時の貫入量	削孔速度 (cm/min)	コアチップ・ビット	送水圧 (MPa)	排水量 (L/min)				
1	554.98	0.50		黒ぼく	黒褐					CL	91.01	有機質な粘性土。表層に落葉を混入する。亀裂は密着しているが、潜在亀裂が多くやや脆い。コア肌は粗く、ハンマー軽打で割れる。0.7~1.0m付近のやや開口した亀裂に石英脈がみられる。	3/8	50	1.00	50	90			800	86	0	0	0	W10	0				
2	552.63	1.85		石英斑岩	灰褐	w3	h3	C	III	c	CL	121.12		50	1.00	50	90			100	150	0	0	0	W27	0				
3				暗緑灰		w2	h2	B	III	b	CM	141.41	1.85~2.9mはコア肌はやや滑らかであるが亀裂が多く、ハンマー軽打で割れ、隙~岩片状主体となる。	50	2.00	50	50			70	70	250	250	0	0	0	W58	0		
4				緑緑岩		w1	h1	A	II	a	CH	231.85	2.9m以深はコア肌は滑らかで、短柱状~柱状を呈する。岩片は非常に硬質で、ハンマーの打撃で金属音を発する。	50	3.00	貫入不能			8	66						0	0	0	W57	0
5				緑緑岩		w2	h2	B	III	b	CM	241.78	所々にやや風化した石英斑岩の脈の貫入がみとめられる。	3/8						56	66	300	275	0	0	0	0	0	W57	0
6	549.48	6.00		緑緑灰		w1	h1	A	II	a	CH	231.78	亀裂はよく密着しているが、局部的に低角度主体の亀裂をみとめる。亀裂面は褐色を呈する。	3/8						8	66						0	0	0	0